

主催：南山大学国際教養学部、名古屋商工会議所、愛知日米協会
協力：在名古屋米国領事館、中日新聞

シンポジウム

激動期のアメリカ

—理論と現場から見たトランプ時代とその後

登壇者：

山岸敬和（南山大学国際教養学部教授）

岩田仲弘（中日新聞前アメリカ総局長）

冒頭挨拶：

Matthew A. Cenzer（在名古屋米国領事館首席領事）



本シンポジウムでは、岩田が現場で取材したトランプ政権の実像について、山岸は専門的な研究からトランプ政権を紐解きます。それによって現在のアメリカで起きている変化につきまして、複数の側面で考えるための手がかりを皆様に提供出来ればと思います。

日時：2022年3月4日（金）

15時～16時30分

会場：名古屋商工会議所 5階 会議室ABC
（名古屋市中区栄2-10-19）

応募方法：

下記URLもしくは右記から
お申込みください。

（申込〆切2月18日）

[https://answer.cci.nagoya/infr
a/?code=437a2542](https://answer.cci.nagoya/infr
a/?code=437a2542)



参加費無料・先着70名
（応募者多数の場合には抽選）

登壇者略歴



山岸敬和

YAMAGISHI, Takakazu

1972年12月25日生まれ

慶應義塾大学法学部政治学科卒

Johns Hopkins University, Ph.D.

著書：『アメリカ政治の地殻変動』

『アメリカ医療制度の政治史』

『ポスト・オバマのアメリカ』等
南山大学外国語学部英米学科講師、

准教授、教授を経て現職。

国際センター長も務める。

岩田仲弘

IWATA, Nakahiro

1967年5月7日生まれ

早稲田大学政治経済学部政治学科卒

Monterey Institute of International
Studies, M.A.

前橋、横浜両支局、政治部を経て2008～11
年にアメリカ総局（ワシントンDC）。千葉
支局、外報部両デスクを経て19～21年にア
メリカ総局長。現東京本社デジタル編集部
デスク。



本シンポジウムの内容は『激動期のアメリカー理論と現場から見たトランプ時代とその後』（大学教育出版、2021年）を基にしています。